

AI時代に生き残る基本とは

「人工知能(AI)」という単語を見ない、また聞かない日はないほど、世の中ではその応用が盛んにうたわれています。長崎大学は、2020年4月に情報データ科学部という新しい学部を設置する予定です。新学部では、課題解決型の人財を育成するインフォメーションサイエンス(情報科学)と価値創造型の人財を育成するデータサイエンス(データ科学)を柱とし、企業で活躍していた方や外国人も教授として迎え、情報を専門とする多様性に富んだ教員32人を擁し、海外からの学生10人を含めた110人の学生を募集する予定です。情報科学とは、AIやコンピューターのシステムを理解し、工業だけでなく農林水産業にも活用できる能力や、システム設計およびセキュリティ技術を基盤としたシステムの開発や保守などの能力を学ぶものです。データ科学とは、数学や統計を活用してビッグデータを分析し、医療や観光、教育、デザイン、経営などさまざまな分野に応用できる能力を学ぶものです。日本だけでなく世界において、専門知識を備えた人材の不足が深刻化する情報分野での育成を目指しています。



我々は今、18世紀末から始まった産業革命に続く、産業構造の大きな変革のさなかにいます。人間の仕事がAIやロボットに取って代わられるようになり、仕事がなくなるかのような印象で語られることが多いですが、実際には人間にしかできない仕事のニーズが増大すると予測されています。では、何を学ばばいいのか、つ

かみ所がないように感じるかもしれませんが、最終的には、人間として基本的な能力を身に付けることが重要です。例えば、そもそも何が問題なのかを明らかにし、その問題を解くために必要な手段と段取りを考え、それらを実行することで問題が解決できたかどうかを確認するといった一連のプロセスである問題解決能力

は、人間に対してのみ与えられた力です。コンピューターは、大量の知識を持ち、アルゴリズムに沿って整理し、高速で処理する能力には優れています。しかし私たちは、人間にしかできない基本的な力をつけ、さらにAIを使いこなす能力を身に付けるべく、学び続けていくことが最も重要です。それがひいては、世の中の人々を幸せにし、希望ある豊かな未来に繋がります。

河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.68

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

特別企画

長大生の ターニング ポイント



Information

学長室だより

AI時代に生き残る基本とは

1

表紙のはなし

多文化社会学部

3

教育学部

5

経済学部

7

医学部 医学科・保健学科

9

歯学部

11

薬学部

13

工学部

15

環境科学部

17

水産学部

19

オープンキャンパス クイズ&編集後記

21

今回のモデルは、2018年長大祭ミスコンテストでグランプリを受賞した、医学部保健学科3年の中島実咲さん。県内の7大学による連携企画「ミスキャンパスイン長崎2018」でも、グランプリに輝きました。看護師を目指し、医学部に入学した中島さんにとって転機となったのが、大学での学びを通して助産師や保健師という新たな夢に出会えたこと。部活も頑張っている素敵な女性でした。